



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



大阪大学千石会 総会

大阪大学の近況ご報告



2023年10月27日



大阪大学役員のご紹介



西尾 章治郎 総長



金田 安史

理事・副学長

統括理事
(大学経営、
OU構想策定担当)

- 共創、国際（共創）、
病院担当



田中 敏宏

理事・副学長

統括理事
(教育研究、内部統制担当)

- 教育、入試、
学生支援担当



尾上 孝雄

理事・副学長

- 研究、国際（研究）、
情報推進、図書館担当



福田 祐一

理事・副学長

- 財務、質保証推進担当



田中 学

理事・副学長

- グローバル連携、
施設、万博担当



水島 郁子

理事・副学長

- 人事労務、
ハラスメント対策担当



山本 ベバリー・アン

理事・副学長

- 国際（教育）担当



井上 恵嗣

理事・副学長

- ダイバーシティ&
インクルージョン、
広報、SDGs、リスク管理、
事務組織担当



武内 紀子

理事（非常勤）

- 経営改革担当



泉谷 八千代

理事（非常勤）

- 社会学アウトリーチ活動、
ブランディング担当



木下 健久

監事



櫻井 美幸

監事（非常勤）





大阪大学が目指す未来社会のビジョン

生きがいを育む社会の創造

個々人が社会で活躍できる寿命（社会寿命）を延伸させ、あらゆる世代がその多様性を生かすことで社会を支え、豊かで幸福な人生をすべての人が享受できる社会を創造する



社会寿命の
延伸

Well-being

人々の社会との
つながり



人類の大きな課題の解決

- 人類の脅威の克服によるレジリエントな社会の実現
- 新産業の創出による多様な人々の社会参画
- 激変する社会への人の適応力の向上

技術の革新

生涯学ぶ

心身の健康

持続可能な
社会

多様性と
共生社会の実現

豊かな知と心

教育

研究

経営

多様なステークホルダーとの共創

OUマスタープラン各戦略

基盤

各部署の取組・個々の研究等





生きがいを育む社会を創造する大学へ



OU (Osaka University)
マスタープラン
— 中長期的な大学の道標 —

①

教育基盤

知性あふれる
人材の育成環境の
構築

②

研究基盤

自由な発想が
芽吹く研究環境の
構築

③

経営基盤

共創を
中核に据えた
経営体制の構築

縦軸となる方針

④ コロナ新時代に対応する情報基盤整備

⑤ 多様な人材が輝くグローバル戦略と Diversity & Inclusion の深化

⑥ 自由な発想が芽吹く豊かな時間の創出

⑦ 社会との共創を醸成し活性化させるブランディングの展開

横軸となる方針





SDGsに関する世界ランキングを含め国内トップクラス

Times Higher Education World University Rankings 2024

世界 ▶ 175位タイ 国内 ▶ 4位

産業界との結びつきに関する指標で世界 1 位を獲得!!



QS World University Rankings 2024

世界 ▶ 80位 国内 ▶ 3位



Times Higher Education Impact Rankings 2023

世界 ▶ 101~200位 国内 ▶ 3位(タイ)



Nature Index Annual Tables 2023

世界 ▶ 77位 国内 ▶ 3位

nature index



Times Higher Education Japan University Rankings 2023

国内 ▶ 3位

【参考】 1位 東北大学、2位 東京大学、
3位 大阪大学、4位 東京工業大学、5位 京都大学





文部科学省による産学連携等実施状況調査 「民間企業との共同研究費受入額」等で全国2位の実績

民間企業との共同研究費受入額

8,777,611
千円

全国
第2位

民間企業との共同研究実績件数

1,308件

全国
第3位

民間企業との共同研究費
受入額1,000万円以上の研究費受入額

7,071,647
千円

全国
第2位

民間企業との共同研究費
受入額1,000万円以上の実施件数

145件

全国
第2位

文部科学省「令和3年度 大学等における産学連携等実施状況について」より





世界的建築家・安藤忠雄氏による感染症教育研究棟を整備 吹田キャンパスに2025年2月竣工予定



2023年8月29日 起工式を実施

感染症総合教育研究拠点

国内外の「知」と「人材」が結集し
感染症の問題を
多角的に解決する場に

世界の人々の
「いのちと暮らし」を守る

感染症教育研究棟
イメージ・グラフィックス

- 基本デザイン・デザイン監修：安藤忠雄建築研究所
- 基本計画：大阪大学、明豊ファシリティワークス株式会社
- 設計・施工：大成建設・日建設計特定建設工事共同企業体（デザインビルド）





2023年3月 島津製作所との包括連携協定 締結

目的

- 産学共創を通じた科学・技術力向上、人材育成、社会貢献
- 研究開発・人材育成等の分野において具体的な協力を推進

これまでの経緯

- 2015年4月 大阪大学島津分析イノベーション共同研究講座 活動開始
- 2019年8月 大阪大学・島津分析イノベーション協働研究所 設置

●2021年4月 REACHラボプロジェクト 始動

(REACH=Recurrent & Re-skilling Academia and Industry Collaboration for Higher Education)

- ▶ 島津製作所の社員が大阪大学大学院薬学研究科博士課程に入学
- ▶ 協働研究所内に開設するREACHラボを拠点として博士号取得を目指す。



新たな高度人材育成へと発展

●2023年4月 REACHプロジェクト 始動

- ▶ 大阪大学の修士課程を修了し島津製作所に入社する学生
- ▶ 引き続き大阪大学の博士課程で共同研究に従事し博士号取得を目指す。

経済的支援

充実した研究環境

博士課程進学率向上





2024年 うめきた2期地区（グラングリーン大阪）へ進出!!

～先端技術と共に歩む、未来社会の創造と革新～

研究は“大学”から“街”へ

三つのプロジェクトのサテライトラボ

誰もが自在に活躍できるアバター共生社会の実現
(ムーンショット)

代表者：石黒 浩（基礎工学研究科・教授）

人間中心のアバター共生社会の実証実験を行いながら研究課題の発見と解決に取り組む。

脳情報を生かした街づくり (CiNet)

代表者：北澤 茂（脳情報通信融合研究センター・センター長）

情報通信研究機構（NICT）と連携して実施している脳情報研究における共創拠点として、研究成果展示、産学官連携の場、脳情報収集拠点、知を育む場、情報発信拠点、大阪万博連携拠点として活用する。

ライフデザイン・イノベーション研究拠点 (Society5.0)

代表者：八木 康史（産業科学研究所・教授）

パーソナル・ライフ・レコードの活用で目指す未来社会の実験フィールドとして、研究プロジェクトの推進と産学連携によるデータの利活用を行う。





大阪大学中之島センターの改修



文化・芸術・学術・技術の「四つの知」が交差するアゴラ

多くの人々が集うアゴラの役割を果たし、文化・芸術・学術・技術の「四つの知」が交差する結節点、さらには、社学共創、産学共創、アートのグローバル発信拠点形成を目指し、**中之島センターを大規模改修・機能強化**

2023年4月30日 大阪大学中之島センター改修お披露目会を開催



大阪大学 OSAKA UNIVERSITY 大阪大学中之島センター改修お披露目会
2023年4月30日(日)



エントランス

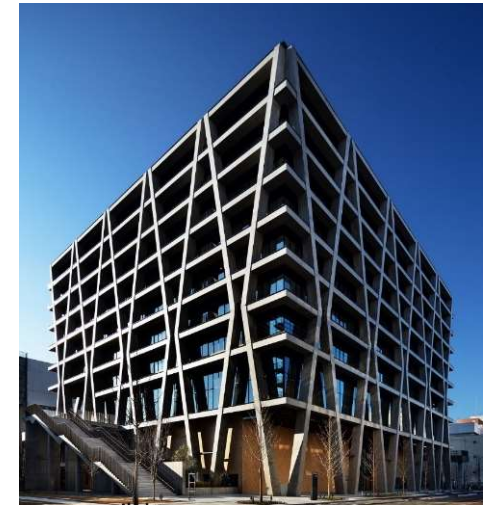


ミュージアム・カフェ





2023年5月 ISCN Excellence Awards受賞



Partnerships for Progress部門では日本初の受賞!!

国際的な大学ネットワークISCN (International Sustainable Campus Network) より、サステナビリティやコミュニティの意識を高め、環境負荷を低減する革新的なコラボレーションモデルに顕著な貢献をした大学に贈られる賞





2022年4月28日発行！

(愛称) 大阪大学 生きがいを育む社会創造債

サステナビリティボンドとしては**国内大学初**

国立大学法人で**2例目**

発行額 = **300億円** 償還年限40年（満期一括償還）



サステナビリティボンド

調達した資金が、地球環境および社会課題解決双方に資するプロジェクトに充当される債券



2023年4月 キャピタル・アイAwards “BEST DEALS OF 2022”財投機関債等部門 受賞

資本市場のファイナンスのなかで最も優れた案件や発行体について、株式会社キャピタル・アイが、引受証券会社と機関投資家へのアンケートをもとに選出、表彰

SDGs の達成にも貢献！





プロジェクト事例 1

- 産学官共創活動の推進に資する、イノベーション・コモンズ（共創拠点）の整備
- Well-being実現のための未来社会創造に資する教育研究環境の整備

アウトプット

ラボ棟（吹田地区、豊中地区）の建設等

（2026年度 竣工予定）

不足する**教育研究・産学連携スペースの確保**
教員・学生と企業・地域コミュニティ間の交流促進

プロジェクト事例 2

- 教育・研究・経営を横断的に支える基盤の整備

アウトプット

情報基盤整備(ONION)に代表される
教育・研究設備の整備

（2024年度末 整備完了予定）

本学の研究データを情報基盤設備(ONION)に集約・蓄積
オープンサイエンス及びデータ駆動型研究を飛躍的に推進





春の叙勲・瑞宝中綬章

月原 富武	名誉教授	(蛋白質研究所)
福住 俊一	名誉教授	(工学研究科)
吉野 勝美	名誉教授	(工学研究科)

春の叙勲・瑞宝双光章

藤埜 浩一	元医学部附属病院 医療技術部長
渡邊 正人	元附属図書館 事務部長

春の褒章・紫綬褒章

糸崎 秀夫	名誉教授	(基礎工学研究科)
関口 清俊	名誉教授	(蛋白質研究所)
茶谷 直人	名誉教授	(工学研究科)
山内 和人	教授	(工学研究科)

ご受章、誠にありがとうございます。
皆様が優れた成果を残され、
さらにそのご功績が認められましたことは
この上ない喜びであります。

〔氏名五十音順〕



令和5年5月30日発表

山内教授が **未来創造発明奨励賞** 受賞

「ナノ集光X線ミラー作製のための超精密測定法の発明」



山内 和人 大学院工学研究科教授

本発明により、X線集光ミラー（サイズ 100mmから 1m）に要求される形状精度1nmの実現に不可欠な形状測定技術を確立し、X線顕微鏡技術の高度化に極めて大きな貢献

大阪大学が **未来創造発明貢献賞** 受賞

5年連続の受賞！





第13回（令和4年度）日本学術振興会 育志賞

全18名の受賞者のうち大阪大学から3名が受賞!!



友藤 嘉彦

医学系研究科 医学専攻

新規メタゲノムショットガンシーケンス解析手法の開発および疾患・食生活・民族と腸内微生物叢の関連の解明



六車 楓

文学研究科 文化形態論専攻

古代中国の身体観
—新出土医学文献の読解を軸に—



安水 良明

医学系研究科 医学専攻

制御性T細胞を基軸とする自己免疫疾患の包括的理解と創薬

〔氏名五十音順〕

育志賞

我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士後期課程学生を顕彰することで、その勉学及び研究意欲を高め、若手研究者の養成を図ることを目的に平成22年度に創設





2023年度 第18回 ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞



堤 友美

歯学研究科 博士課程4年

- 【研究内容】** 咀嚼筋に生じる感覚の中枢情報処理機構の解明
- 【受賞理由】** ものを食べることによって、人がなぜ満足感を得、幸せな気分になるかなど情緒面での意味が明らかになる可能性が期待される。





国際的な取組 (ASEANキャンパス)

ベトナムキャンパス



ベトナム科学技術
アカデミー

タイキャンパス



マヒドン大学



マレーシア
キャンパス

マレーシア科学大学

大阪大学では、ASEAN地域のパートナー校に、大阪大学ASEANキャンパスと称するジョイントキャンパスを設置し、国内キャンパスと同水準の教育・研究環境を提供しています。タイ、ベトナム、インドネシア、ブルネイに加え、**2022年7月、マレーシア科学大学とキャンパス設置にかかる協定を締結しました。**

大阪大学



ASEANキャンパス

ブルネイキャンパス



ブルネイ・
ダルサラーム大学



スルタン・シェリフ・
アリー・イスラミック大学



ブルネイ工科大学

インドネシアキャンパス



バンドン工科大学





日独6大学アライアンス HeKKSaGOn German-Japanese University Alliance

2023年9月21-22日 ゲッティンゲン大学で開催された
HeKKSaGOn学長会議に出席

HeKKSaGOnの枠組みでの連携事項を示した**共同宣言に署名**



ハイデルベルク大学、京都大学、カールスルーエ工科大学、東北大学、ゲッティンゲン大学、大阪大学からなる日独二国間の大学ネットワーク。
2010年7月に設立され、学生・研究者の交流や共同プログラム等を実施





新たなD&Iの観念を普及させていく～Equity（公正性）を加えたDE&Iへ～

D&I Diversity & Inclusion

DE&I Diversity, Equity & Inclusion

全構成員必修 アンコンシャス・バイアス研修

学生及び教職員を対象に、e-learning（オンデマンド型）で実施

女子学生ネットワーク「**asiam**（アザイム）」

小中高校生を対象に進路相談会や実験教室による理系進学促進と保護者・教員のアンコンシャス・バイアス払拭に貢献

50人に各20万円を授与「入学支援金制度」

理工系学部に入學する優秀な女子学生を対象に、ダイキン工業株式会社をはじめとした賛同企業とともに令和4年から実施

DE&Iコンソーシアム・ハンダイの設立

女性研究者循環型育成クラスターを発展的に継続
企業等33社と連携し、全国へと展開

企業等女性研究者のリカレント教育を推進

DE&Iコンソーシアム・ハンダイで実施する、女子学生とともに学ぶリカレント教育（学び直し）

- 育休中キャリアアップ支援プログラム
- イノベーション女性活躍推進プログラム





大阪大学未来基金

— 活動報告書 2023 —



大阪大学を応援いただいている皆さまへ | 大阪大学未来基金状況のご報告



大阪大学 未来基金



阪大「ワニ博士」



多くの方々から、未来基金の各プロジェクトに多大なるご支援を頂いており、学生や教職員から多くの感謝の声が上がっております。

昨年度の未来基金の状況につきましては、「活動報告書2023」にまとめておりますので、ご一読いただけましたら幸いです。

皆様からの温かいご支援に厚く御礼申し上げます。



URL: <https://www.miraikikin.osaka-u.ac.jp/report/>

